



学校だより 始良市立永原小学校

平成31年3月発行  
児童数30名(特認生14名)  
校長 篠田 哲仁

# 緑の風

スローガン「みんなでつくろう 思いやりと 笑顔と 花いっぱい永原小学校」

## 【大輪の花を咲かそう】

桜の開花が待ち遠しい季節となりました。しかし、一年の中でたった2週間程しか花を咲かせない桜の木も、残りの約350日を毎年繰り返し切磋琢磨して満開の花を咲かせるのだそうです。夏には葉を繁らせて栄養を作り、幹を太らせ、秋には葉を美しく色づかせて冬支度をし、冬には来たるべき春に備えて樹力を蓄える。そして迎えた春には満開の花で私たちを楽しませてくれます。その他の春の草花たちも厳しい冬の寒さにしっかり耐えて春には大輪の花を咲かせます。短い期間でも満開の花、大輪の花を咲かせるためには長い準備の時間と厳しい試練の時を乗り越えてきていることが理解できます。子どもたちにとってもこの一年間を乗り越えてきた3月は、4月に新しい学校や新しい学年で桜の花と同じように満開の花を咲かせる大切な時期となることでしょう。1年間の取組を振り返り、最後の仕上げを怠らず、来たるべき春(新しい学校・学年)に備えましょう。保護者の皆様、地域の皆様には今年度一年間、子どもたちの水となり肥料となり支柱となり支え、励ましていただきましたことに心より篤く感謝を申し上げます。新しい春4月、子どもたちの心に大きく美しい花が咲きますように、引き続きご支援・ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。平成30年度の永原小学校の教育活動にも温かいご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。次年度は1・2年生のみ複式学級が解消される予定ですが、新たな課題や取組に向かって更に邁進して行きたいと決意を新たにしております。



短い期間でも満開の花、大輪の花を咲かせるためには長い準備の時間と厳しい試練の時を乗り越えてきていることが理解できます。子どもたちにとってもこの一年間を乗り越えてきた3月は、4月に新しい学校や新しい学年で桜の花と同じように満開の花を咲かせる大切な時期となることでしょう。1年間の取組を振り返り、最後の仕上げを怠らず、来たるべき春(新しい学校・学年)に備えましょう。保護者の皆様、地域の皆様には今年度一年間、子どもたちの水となり肥料となり支柱となり支え、励ましていただきましたことに心より篤く感謝を申し上げます。新しい春4月、子どもたちの心に大きく美しい花が咲きますように、引き続きご支援・ご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。平成30年度の永原小学校の教育活動にも温かいご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。次年度は1・2年生のみ複式学級が解消される予定ですが、新たな課題や取組に向かって更に邁進して行きたいと決意を新たにしております。

## 【家庭学習強調週間への取組】

三学期の家庭学習強調週間チェックカード(2/9~2/15)へのご指導、ご協力ありがとうございました。「テレビを消しての学習」「自分から進んで勉強」「あしたの準備」については、概ね〇が記されており、よく頑張っているようです。しかし、家庭学習の時間やテレビ・ゲームの時間については個人差が大きく、反省や改善が必要な児童・ご家庭が見られるようです。未提出のご家庭もありますので、参考までですが、一週間の統計で一日の平均を出してみました。お子さんの実態と比較してみてください。まずは平均をクリアすることが差し当たっての目標というところでしょうか？

〈家庭学習時間〉→低学年：30分、中学年：58分、高学年：45分、全校：47分  
最低：11分、最高：90分

〈TV・ゲーム〉→低学年：28分、中学年：27分、高学年：53分、全校：32分  
最低：0分、最高：129分(一週間の平均でこれは尋常ではない)

家庭学習については、低学年：40分、中学年：60分、高学年：90分を目安として打ち出しておりますが、なかなかこれに届かない児童も、まずは毎日一定時間学習に取り組む習慣を身に付けることが大切です。TV・ゲームについては、高学年に顕著な悪しき傾向が見られます。①家庭学習時間よりもTV・ゲームに費やす時間の方が多い②平日でもTV・ゲームに費やす時間が120分超の児童がおり、反省や改善が必要である。

進級・進学の際に当たって、親子で一体となって取り組む強い心構えが大切です。

## おめでとう！「南日本作文コンクール」学校賞（椋鳩十賞）受賞

先日の全校朝会で、「南日本作文コンクール学校賞（椋鳩十賞）」の表彰がありました。今年のコンクールでは、2年生の船津明依さんが「ぺったんぺったんもちつき」、3年生の城世莉那さんが「大すきな生き物のために」、4年生の細谷こまちさんが「心が熱くおどった夏」の作品が入選に選ばれました。今まで体験してきたことを作文に書き、担任の先生をはじめ、国語担当の笠井先生にも色々とお話をいただきました。今回の受賞を全校で喜びました。

これからも、書くことを好きになり、体験したことを文にまとめていく活動を地道に続けていきたいと思っております。



【全校児童での表彰式】

## 「6年生を送る会」と「お別れ遠足」

1日（金）は、「6年生を送る会」を体育館で実施した後、異年齢集団で「さえずりの森」まで遠足に行きました。

各学年で発表を工夫したり手作りのプレゼントを渡したりして、6年生に感謝の気持ちを伝えました。

「さえずりの森」まで約40分間、春ののどかな田園風景と友達との会話を楽しみながら、歩き通しました。草スキーや遊具で遊んだ後は、楽しいお弁当タイム。午後からは、竜門小学校のお友達と「じゃんけん列車」や「ドッジボール」などをして交流し、楽しい時間を過ごすことができました。



【6年生の皆さん、今まで有り難うございました】



【竜門小学校のお友達とも交流しました】

## 「椎茸の駒打ち体験」をしました！

「未来につなぐ森林環境教育推進事業」の一環として、8日（金）に全校児童で、「椎茸の駒打ち体験」をしました。

始良・伊佐地域振興局の名越先生をはじめ、講師の先生方に教えて頂きながら、電動ドリルで「ホダ木」に穴を開けました。そして、椎茸の菌がついた駒を金槌で打ち、埋め込みました。今後は観察・栽培活動を続け、約2年後の収穫を待ちたいと思っております。



【シイタケのコマ打ち体験】

## 高岡緑の少年団、「植樹活動」参加！

高岡緑の少年団員の13名は、9日（土）に県民の森内にある山林に「杉の木」の苗木を植樹しました。

始良・伊佐地域振興局の長濱先生をはじめ講師や保護者の方々といっしょに活動しました。3年生の原田茉弥（まひろ）さんは、「スコップで穴を掘るのが大変だったけど、杉の木をまっすぐ植えることが出来ました。大きく育てて欲しいな。」と嬉しそうに話してくれました。



【安全に十分気を付けて、松の苗木を植林】



## 【おめでとう】

### ☆ 県小学校書写展

【硬筆の部・特選】 2年 船津 明依さん、5年 城 史織さん、6年 茂利 悠佑さん

【毛筆の部・特選】 3年 榎谷 さゆさん

### ☆ 第34回 ゆめ・立体・彫塑展

【特選】 6年 原田 昊明さん

### ☆ 防火ポスターコンクール

【銅賞】 2年 船津 明依さん、上村 葵々さん、5年 城 史織さん、上村 寧々さん

### ☆ NHK全国短歌大会ジュニアの部

【入選】 4年 船津 睦輝さん

### ☆ 南さつま「いろは」まごころ短歌大会

【入選】 4年 細谷 こまちさん

### ☆ しきなみ子ども短歌コンクール

【入選】 3年 榎木 秀星さん

### ☆ 新聞よむのびコンクール

【販売所長賞】 4年 飯干 美優さん



## 【4月の主な行事予定】

（※予定です。変更があり次第、お知らせします。）

5日	入学式準備（新4年生以上）	13日	土曜授業
8日	新任式 始業式 入学式（給食なし）	18日	全国学力・学習状況調査（6年）
9日	PTA総会（19:00～）	22・23・24日	家庭訪問
10日	学級PTA・専門部会	27日	「みどりの感謝祭」（県民の森）